

オンラインLive配信サービス 「Live Delivery(ライブデリバリー)」概要資料

CSreporters

2020/04 ローンチ

株式会社シーエスレポーターズ <http://www.cs-reporters.com/>
【東京オフィス】
〒103-0007東京都中央区日本橋浜町3-16-9中央ビルディング2F
TEL 03-5642-5005 FAX 03-5642-5006

【新潟本社制作スタジオ】
〒950-0963 新潟市中央区南出来島1-10-7出来島第一ビル3F
TEL 025-284-4955 FAX 025-284-4966

「Live Delivery (ライブデリバリー)」とは

About 「Live Delivery」

「Live Delivery(ライブデリバリー)」とは

「Live Delivery (ライブデリバリー)」は
高品質なライブ配信であなたのブランディングを支援します



視聴者が離脱したがない高品質な動画配信をしつつ、各種配信プラットフォームからのコメントを収集・表示できるため、従来の配信よりもリッチな映像での配信が可能なることから、配信者への信頼感を育めると共に、ブランディングへ寄与することが可能です。

「Live Delivery(ライブデリバリー)」とは

『Live Delivery(ライブデリバリー)』5つの特徴

1.どこでも開催可能で、どこからでも参加可能

リアルな会場へ足を運ぶ必要がないため、会場費コストが一切かかりません。また、参加者も場所の制限がなくなるため、世界中のどこからでも参加が可能になります。



2.情報量の多い動画コンテンツを双方向性を持ったメディアとして利用できる

各種動画配信プラットフォームのコメントを収集できるため、セミナー主催者と参加者との間で即時的な意思や意見の交換が可能になりますので、納得・理解度の高い高品質な動画コンテンツ生成が可能です。



3.媒体に捉われない配信が可能

動画配信プラットフォーム2媒体以上での配信が可能のため、参加者の参加しやすい媒体で配信できることから、セミナーやイベントなどの用途に応じて配信先の媒体選定が容易になります。



4.参加数に上限がなく、参加者は時間差視聴も可能

オンラインでの開催は参加者数の上限が必要ないため、より多くの人に届けることも可能です。また、参加者を限定することで確度や習熟度の違いで参加者を選定した開催も可能になります。



5.豊富な経験から得たknow-howで安定的で高品質な配信

これまでの豊富なライブ配信、動画制作の経験から得たknow-howを駆使して配信を行うため、安定的な高品質の配信が可能です。

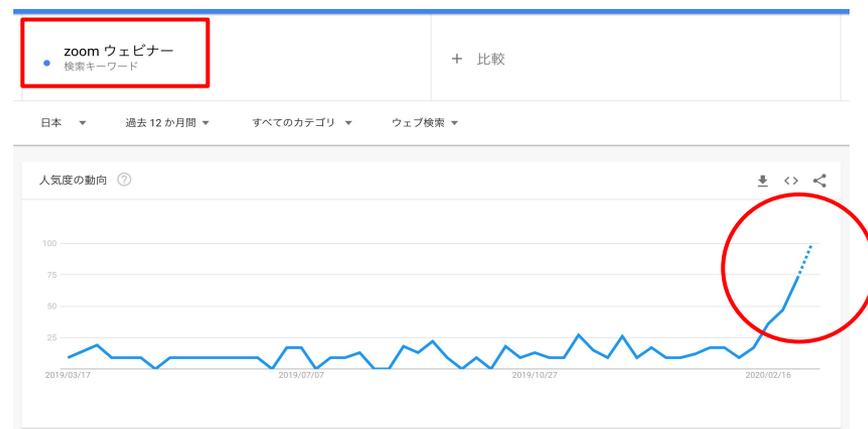
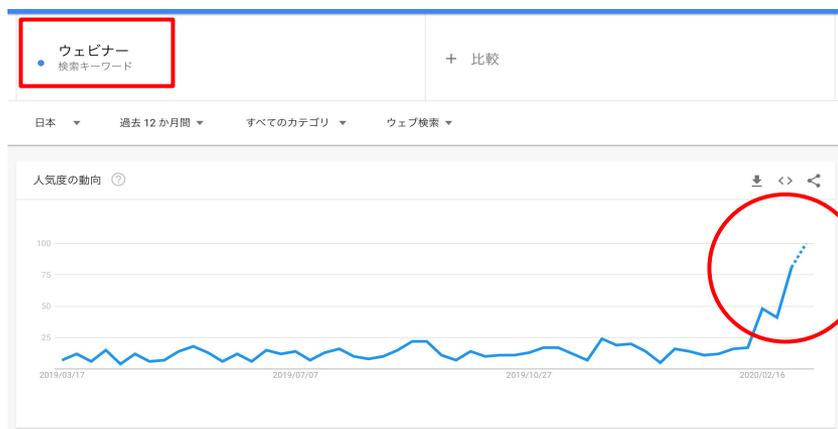


サービス提供の背景と現状分析

Background and current analysis of service delivery

サービス背景

テレワークの普及拡大に伴いウェビナー需要が高まっている



※Googleトレンドより

■ 2020年2月以降で「ウェビナー」「zoom ウェビナー」のニーズが急増中

2020年1月以降、テレワークやリモートワークの導入が活発化したことに相まり、各種イベント・セミナーがオンラインで実施されるようになったことを受け、ウェブで行うセミナー通称「ウェビナー」が大きく注目されはじめており、その際に利用するツールとしてzoomが注目されている他、各社が無料でのサービス提供をはじめた。(2020年3月時点)

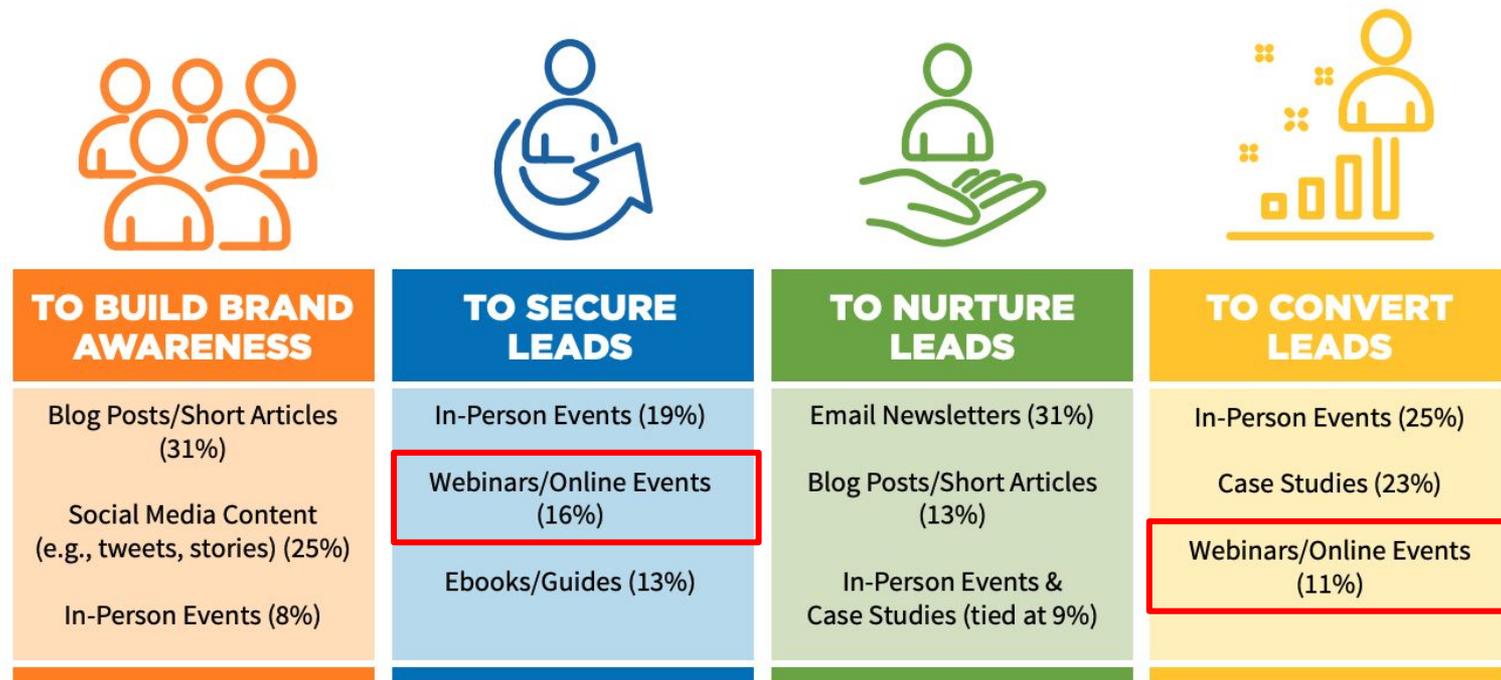
■ 場所に捉われずに参加を促すことが可能になる

ツールを利用できる環境やネットに接続できる環境であれば、希望者を招待した上でセミナーを開催できるため、参加者が会場に足を運んだ上で開催する必要がなく、場所に捉われずに自主運営のセミナーを開催することが可能。

コンテンツマーケティングの中で存在感が高まるウェビナー

CONTENT CREATION & DISTRIBUTION

We asked respondents which content types are the highest performing for their organization for building brand awareness, securing leads, nurturing leads, and converting leads. Their top 3 responses in each category are shown here.



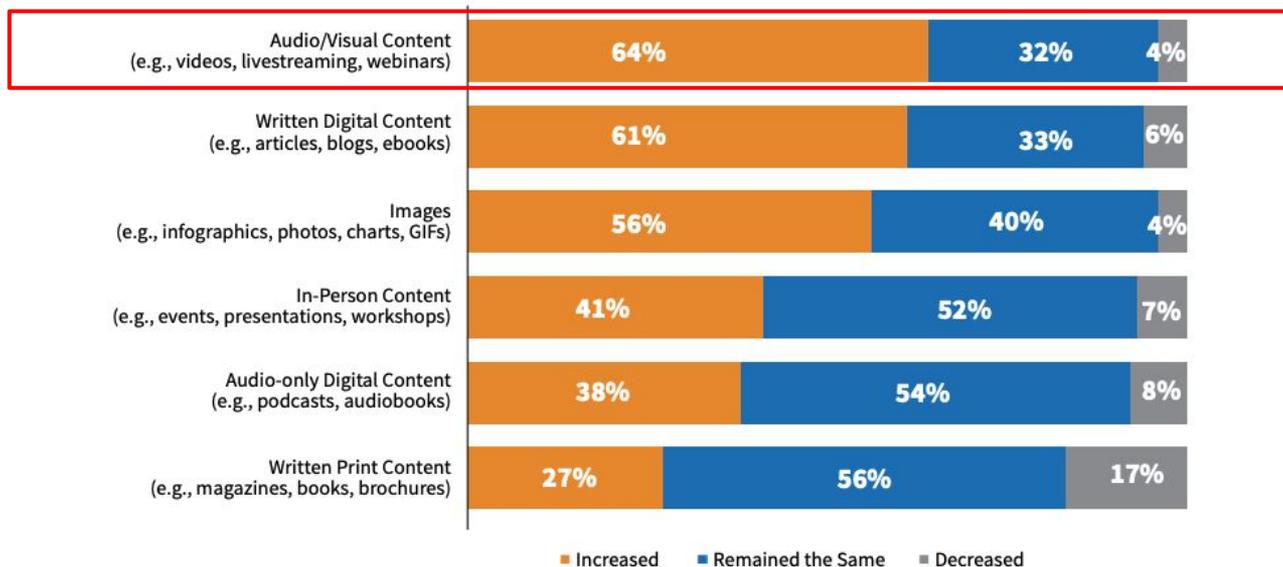
[2020 Benchmarks, Budgets, and Trends—North America](#)

北米ではB2Bのマーケティング担当が「見込み顧客の獲得」と「見込み客の顧客化」時のコンテンツとしてウェビナーを利用しており、今後、日本でも同様の動きになっていくことが予想されます。

テキストや画像コンテンツがライブ配信や動画へ転換

The majority of B2B content marketers increased their use of audio/visual content, written digital content, and images compared with one year ago.

How B2B Marketers Have Changed Their Use of Content Types/Formats Compared With One Year Ago (All Respondents)



[2019 Benchmarks, Budgets, and Trends—North America](#)

北米におけるB2Bコンテンツマーケティング担当者が2018年から2019年にかけて、60%以上が音声や動画、ウェビナーを利用したコンテンツを利用するようになっており、テキストや画像コンテンツからの転換を見せ始めています

ウェビナー(Webセミナー)開催における課題

各種ツールによって招待できる人数・方法が異なる

各ツールによって、WEBセミナーを実施する際に招待できる数には限りがあります。それはどんなツールも上限が設けられているため、招待したい人数がツールの仕様に沿わないケースも出てきます。

ツールによっては参加者のログインがしづらい

アプリのインストールやログイン方法が複雑になってしまうと、ウェビナーへの参加希望者の申し込みに対する敷居が高くなってしまいます。

品質を担保した上で配信するためのノウハウが必要

WEBでセミナーを開催する場合、リアルな会場で開催するものと異なり、資料の表示、質問への回答などリアルな会場では自然とやりとりが可能なものだと、配信におけるノウハウが必要になります。

ライブ配信で実現できること

1. 高品質でプラットフォームに左右されないLIVE配信

法人向けで品質の高い配信が可能になります。まるでTV番組を制作するように映像内へ資料や動画、テロップなどを掲出できる上に、動画配信のプラットフォーム（YouTube、Facebook、Instagram、Twitterなど）に左右されない配信が可能です。

2. 専用サイトでウェビナー開催・顧客管理

参加者はイベントやセミナーを専用サイトへURLにて招待し、そこから視聴および参加をしてもらう形になりますので、募集管理や集金管理などを自社で容易に管理することが可能になります。

3. コスト低減による生産性の向上

営業やセミナーで全国や世界中へ足を運ぼうと思えば、日本を回るだけでも金銭的・時間的コストを支払う必要がありますが、ライブ配信・動画の二次利用が可能になれば、そのコストを大きく低減することができます。

4. リアルタイム共有による濃厚な接触機会の確保

短時間ではなく、長い時間を共有できるため、参加者・視聴者との心理的な距離が縮まりやすくなります。また、リアルタイムのコメントをプラットフォームに関係なく収集できるため、リアルタイムで反応することで臨場感のある意思疎通が図れます。

サービスプラン／料金

Service Plan and Price

サービスプラン

サービスラインナップ

1. オンラインLIVE配信プラン

セミナーやイベント、番組配信などをリアルタイムで配信するプランです。カメラの台数から人員配置など、配信する内容に応じて最適なオペレーションを組んだ上で撮影・配信を行います。



2. 限定型オンラインLIVE配信プラン

配信用の特別サイトを用意し、参加者を限定しながら配信するプランです。高額商材の購入者や限定的な情報を発信するセミナーなどを開催する際に、他の一般的なセミナーなどと差別化することによって、参加者にとっても「特別さ」を体感することができる機会を提供できます。



3. 複数動画プラットフォーム一括LIVE配信プラン

YouTubeやFacebook、Twitter(Periscope)やInstagram、ニコニコ動画など、別々の2媒体以上への配信が可能なプランです。目的や内容によって配信する媒体を選定できる上に、複数媒体を跨いだ集客も可能となります。



4. 配信スタッフなしのオンライン配信

配信スタッフが現地に入らず、リモートで配信を実施する方法。資料や話者を並べたり、大きくしたりすることができる上に、テロップや質問・コメントの表示などが可能なため、他のツールやサービスとの差別化が可能となります。



サービス料金一覧

ベースプラン

●小規模配信

160,000円～

※配信方法(カメラの台数など)によって変動します

限定的な参加者のみ(高額取引者やB2Bセミナー案内対象者など)が参加できるクローズドな招待制の説明会やセミナーを誘導するサイトを構築しますので、参加者は専用ラウンジで視聴する安心感や納得感を提供できます。

●番組配信

200,000円～

※配信方法(カメラの台数など)によって変動します

ライブ配信で動画を配信後、プロモーション用に動画編集、もしくは収録して編集など様々な用途と目的に合わせた動画を制作・納品いたします。

●イベント配信

200,000円～

※配信方法(カメラの台数など)によって変動します

リアルタイムの配信には「クオリティ」「安定性」「見え方」が求められるようになってきており、その要望を満たすためのknow-howを駆使し、テレビを視聴しているかのような高品質で安定的な配信を提供いたします。

●リモートオンライン配信

300,000円～

※登壇者(表示画面)数によって変動します

配信者(お客様)と映像配信側(弊社)をオンラインでつなぎ、全リモートで配信を行います。遠隔地からでも配信映像内で、話者を並べる/資料を大きく表示する他、コメントや質問を掲出させるなど、視聴者とのコミュニケーションが円滑になる配信が可能です。

※ 上記には別途進行管理費10%が発生します。

サービス料金一覧

オプションプラン

●配信オペレーター

ASK/人～

配信内容や規模によっては、増員することによって品質の高い映像配信を担保する必要があります。(応相談)

●カメラ(可動式)

ASK/台～

配信内容や規模によって、カメラを増加する必要があります。(応相談)

●複数媒体への配信(2媒体以上)

30,000円～

Facebook Live・Periscope・YouTube LiveやTwitch、ニコニコチャンネルなど、2媒体以上へ同時に配信することが可能になります。

●複数媒体のコメント表示(2媒体以上)

30,000円～

YouTube LiveやTwitterなど、配信する複数媒体からコメントを自動で収集できるようになります。

●リアルタイム文字起こし

50,000円～

AIを利用し、セミナーやイベントの内容をリアルタイムで文字起こしします。

※精度が出演者とマイクの関係や会場の反響度合いによっては差が生じます。

※ 上記には別途進行管理費10%が発生します。

サービス料金一覧

オプションプラン

●専用申込サイトの構築

50,000円～

限定的な参加者のみ(高額取引者やB2Bセミナー案内対象者など)が参加できるクローズドな招待制の説明会やセミナーを誘導するサイトを構築しますので、参加者は専用ラウンジで視聴する安心感や納得感を提供できます。

●チャンネル制作・運営

100,000円/回～

YouTubeやニコニコ動画など、各種チャンネルの開設と運営を支援いたします。

●動画コンサルティング

100,000円～

動画を制作する上での方針や目標設定など、動画を制作する上での必要なこと、不要なことを個別で時間を設けて現状の把握から解決策を提示いたします。

●マーケティング支援

100,000円/月～

(最小契約単位: 3ヶ月)

チャンネル運営や動画制作において「視聴される前提条件」を揃えるための仕掛けづくりを、これまでの豊富な経験と実績を踏まえ、戦略立案から実行に至るまで成果に結びつくように手掛けさせていただきます。

※ 上記には別途進行管理費10%が発生します。

サービス料金一覧(目安/比較表)

金額(円)	小規模配信 社内向けの配信や個別チャンネル内での配信、などを想定		番組配信 関係者のみがいる状態でスピーカーが画面に向かって話す		イベント配信 聴衆を入れた会場での講演会やセミナーなど規模の大きなものを想定		リモート オンライン配信 話者も配信者も遠隔で行う完全リモート配信
	160,000～	200,000～	200,000～	400,000～	200,000～	600,000～	300,000～
カメラ台数	2 (固定式)	3 (固定式)	2 (可動式)	3 (可動式)	2 (可動式)	3 (可動式)	1 話者が利用する分
人員(名) ※内容により増減	1	1~2	1~2	2~3	1~2	2~3	1 完全リモート配信
会場モニタへの 映像配信	○ (話者確認用)	○ (話者確認用)	○ (話者確認用)	○ (話者確認用)	○ (話者確認用& 会場視聴用)	○ (話者確認用& 会場視聴用)	—
映像内への 資料入込み	○	○	○	○	○	○	○
映像内へ 動画入れ込み	○	○	○	○	○	○	○
映像内へ コメント表示	○	○	○	○	○	○	○
複数媒体への 同時配信※1	○	○	○	○	○	○	○
複数媒体からの コメント掲出※2	○	○	○	○	○	○	○

※1 YouTube Live、Twitter(Periscope)、Facebook Live、ニコニコ、Twitchなど2媒体以上で配信可能

※2 上記複数媒体のユーザーコメントを複数集約して掲出することが可能

ライブ配信実績

Performance

ライブ配信支援実績

※あくまで一例です

みんなが使える
FACT FULNESS
7/4(木)19:00-20:30 @レオスキャピタル

11.7(土)19:00-20:00
DAISUKE ASAKURA meets 初音ミク

#1ゲスト
和合真一
伊万里有の
いまりんキッチン

これからの地域とお金の話をしよう
9/30(月)19:00-20:30 @レオスキャピタル (東京)

エリア・イノベーション・
アライアンス代表理事
内閣府地域活性化推進部

株式会社 CAMPFIRE
代表取締役CEO

レオス・キャピタル
ワークスCEO

NPO法人DXP理事
今井紀明

動画制作実績

※あくまで一例です

SQUARE ENIX Lawson

RoomClip
日本最大級の住まいとインテリアの写真投稿サービス

結婚一周年旅行
BOOK HOTEL
箱根本箱

GENTOSHA
幻冬舎

編集長が
たえます!!

今日のお悩み
ホームパーティーの
やり方がわかりません...

クウガ
第1~3巻 絶賛発表中!

teamnote EverioR
GZ-RX685J

動画マーケティング実績

※あくまで一例です

村田友美子の見るだけで
くびれがとまらない
チャンネル

20時からでも
マズレード
Powered by UtaTen

夢には、
賞状期間が
ないと思う。
LAWSON DREAM ARTIST AUDITION

編集長が
たえます!!

今日のお悩み
ホームパーティーの
やり方がわかりません...

はあちゆう
チャンネル登録者数3.97万人

アップロード動画 ▶ すべて再生

ライブ配信事例(ビジネス系)



noteの各種イベント配信(note株式会社)

noteを運営するnote株式会社が行う各種イベントは、一方通行のライブ配信をするのではなく、(中略)視聴者の方々と双方向のコミュニケーションができる新しいイベントの形に挑戦していく(note本文より抜粋)

[noteでは新型コロナの対策として、イベントのネット配信を強化します | noteイベント情報 | note](#)

世界は変わった。
私たちは
変われるか。

#NEWWORLD
ONLINE CONFERENCE 2020 4.22(WED)-5.1(FRI)

#NEW WORLD (hottolink社)

ホットリンク社が7日間連続で、毎回異なるゲストをオンライン会議つーるzoomで繋ぎ、オンラインで開催したカンファレンス。リリースからわずか3日間で3,000名以上の申込があり、大きな話題となった。

[#NEWWORLD2020 - 各業界をリードする15名をゲストに激動の時代のマーケティングを語る | イベント・セミナー | ホットリンク](#)

これからの地域とお金の話をしよう

9/30(月)19:00-20:30 @ レオスキャピタル (東京)



エリア・イノベーション・
アライアンス代表理事
内閣府地域活性化推進部



株式会社CAMPFIRE
代表取締役CEO



レオス・キャピタル
ワークスCEO



NPO法人D×P理事
今井紀明

これからの地域とお金の話をしよう認定NPO法人D×P)

認定NPO法人D×Pが主催したインターネットによって、新しい単位・新しい関係性における資金循環のきざしを見せています。地域、お金、そしてインターネット。これからの新しいお金のあり方を考える機会を提供したイベント。

[これからの地域とお金の話をしよう](#)

ライブ配信事例(エンターテイメント系)



『つんく♂エンタメサロン』

ロックバンド「シャ乱Q」のメインボーカリストつんく♂主宰のオンラインサロン内での配信を担当。

[つんく♂エンタメ♪サロン～絶対言うたらあかんでえ♪～](#)



『20時からでもマスカレード』

26時のマスカレード(江嶋綾恵梨、大門果琳、来栖りん、吉井美優、森みはる)の生放送の撮影・配信を担当。番組のテーマは「家庭的なカレーを作って女子力アップ!」。各回でゲストを招き、「我が家のカレーではコレを入れる!」という調味料や材料のリクエスト。オリジナルカレーの完成は…!? (チャンネルサイトより)

[20時からでもマスカレード - 2019/06/20\(木\) 19:30開始](#)

321

FUN TO LIVER

“楽しい”を“仕事”に
ライブ配信で生きていく



『株式会社 321』

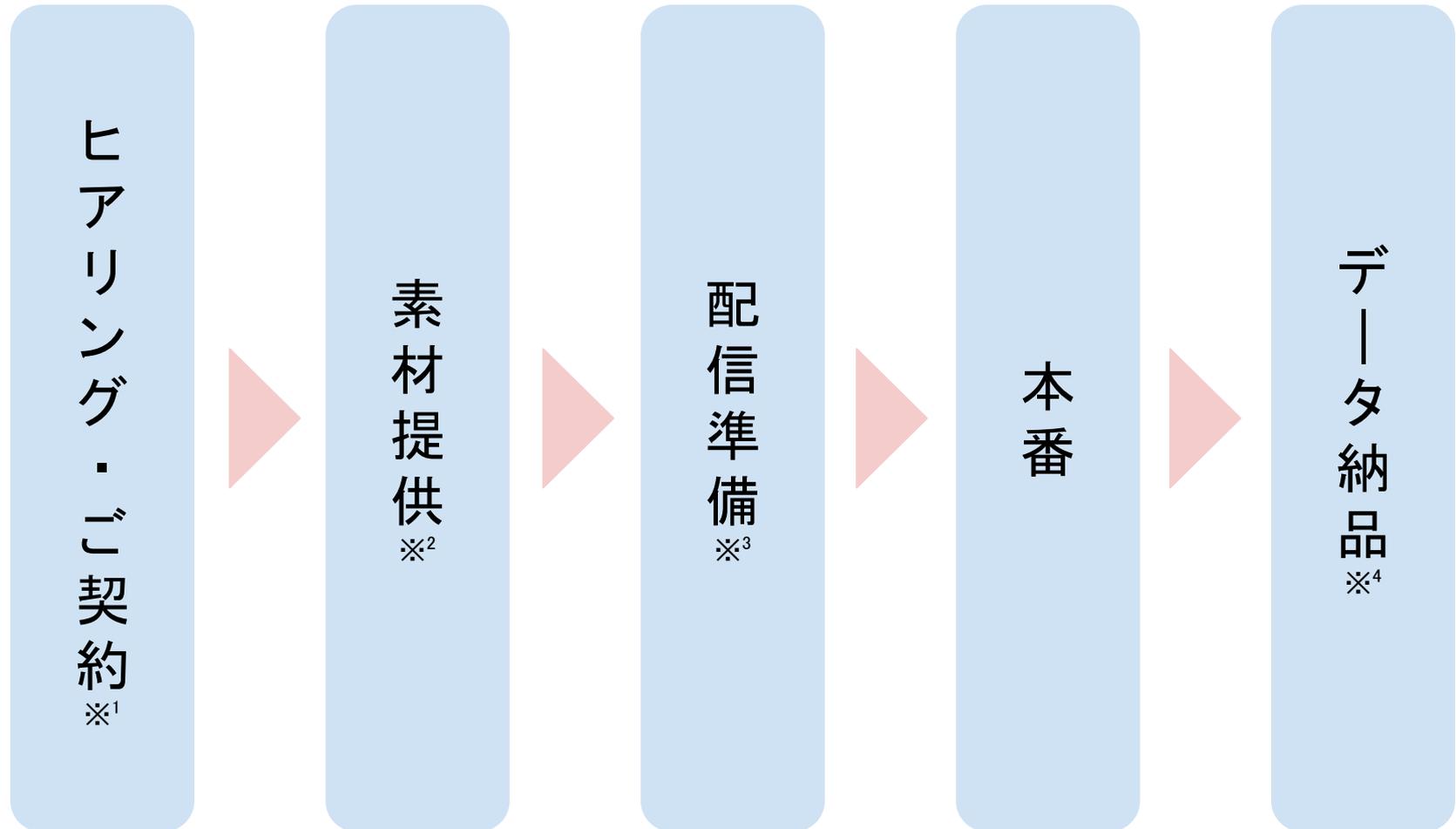
菅本裕子こと、ゆうこすが立ち上げた株式会社 321に所属しているライバー(Liver:ライブ配信者)が行うライブ配信案件を担当。

[株式会社321](#)

配信までの流れ

Flow until delivery

配信までの流れ



※¹ 配信日程やターゲット・人数など、要件を確認の上で、最適なプランをご提案いたします。

※² 当日のプログラム、使用する資料や画像、動画など各種スライドを本番の**営業日前まで**にご提供ください。

※³ 機材設定準備などで撮影クルーは3~4時間前に会場入りしていますので、時間調整の上でリハーサルをお願いいたします。

※⁴ 配信データを後日、納品をご希望の場合は別途料金が必要です(サービス料金参照)

お問い合わせ

Inquiry

お問い合わせ

本サービスに関するお問い合わせは、
専用フォームもしくは各種SNSのダイレクトメールより受け付けております。

専用フォーム: <https://www.cs-reporters.com/contact/movie/index.php>

Twitter(シーエスレポーターズ公式): <https://twitter.com/csreporters>

Facebook(シーエスレポーターズ公式): <https://www.facebook.com/csreporters>

担当: 株式会社シーエスレポーターズ 荻谷(おぎたに)/遠藤(えんどう)

サービス提供会社

Service provider

サービス提供会社

CSreporters

株式会社シーエスレポーターズ

事業内容: デジタルプロモーション事業

代表取締役: 中山賢一

創業: 2000年8月

設立: 2002年4月

住所: 東京都中央区日本橋浜町3-16-9(東京オフィス)

スタッフ数: 80人(2020年4月現在、グループ会社含む)

拠点:

新潟本社制作スタジオ, 東京オフィス, ベトナムオフィス

関連会社:

(株)Gugenka

(株)シーエスリレーションズ

フィリピン制作スタジオCS-REPO LABO.inc

URL: <http://www.cs-reporters.com>

RopEar

合同会社 RopEar

事業内容:

コンテンツコンサルティング / 動画制作 / スタジオ経営 / スペースレンタル

代表: 山中裕介

住所: 東京都 新宿区新宿 5-9-6

所属メンバー: 動画編集者, ライブ配信技術者: 120名

URL: <http://ropear.net/>

主要取引先:

株式会社 ローソン

株式会社 YAMAHA

株式会社 幻冬舎

株式会社 日本経済新聞社

株式会社 サイバーエージェント

株式会社 タミヤ模型

株式会社 スクウェア・エニックス 他

本サービスは、株式会社シーエスレポーターズと合同会社 RopEarでの共同提供サービスとなります。